

食品化学新聞

発行所 食品化学新聞社
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-8
 増支店ビル
 電話：03-3238-7818(代)
 FAX：03-3238-7898
 (購読料4カ月前納) 税込価格 18,480円
<https://www.foodchemicalnews.co.jp/>

今週の紙面	特集 認知機能対策～現役世代からの予防を考える～ 2～5面	インタビュー 8
	インタビュー 2	奥野製薬工業 代表取締役社長 奥野直希氏
	国立長寿医療研究センター もの忘れセンター センター長代理 佐治直樹氏	企業 9
	企業動向 3～5	ADEKAの26年度新製品、コスト対策・輸出など幅広い課題に対応
	第一工業製薬/BGG Japan/インテナジャパン/丸善製薬/共同船舶/DHQ/萩原/龍泉堂/太陽化学/NeU/オムニカ/常磐植物化学研究所/サビシサジャパン/エル・エスコポレーション/一丸ファルコス/アケル・バイオマリン・ジャパン/オリザ油化/林兼産業/ビーエイチエヌ/富士産業/三生医薬/メイプロイндаストリス/金印/浜理薬品栄養科学	行政 10
		機能性表示食品届出動向、ファンゲルが新資料追加、“老化細胞”で初の受理
		企業 10
		中日本カプセルがグミ製造ラインを増強
		(連載)
		アビが専ら開発型原料加工 4 9

高純度なマルチモーダル素材

— 浜理薬品栄養科学 —
Ｌーカルノシン

浜理薬品栄養科学は、自社グループで国内製造する「Ｌーカルノシン」ピュアカルノシンについて、食品・サプリメント向けの供給に注力する。品質規格、高純度を保証し、かつ無味・無臭で利用でき、水溶性やコスト性にも優れる。高い抗酸化作用と抗糖化作用などを有し、認知機能改善や抗疲労・抗ストレス・抗

炎症作用など、多くの実績を持つカルノシンについて、マルチモーダル多機能素材として、幅広い食品形態やコンセプト向け提案を強める。同品は、Ｌーカルノシン99%以上の高純度品。医薬品原薬(GMP)工場としても長年の信頼と実績を有する浜理PFST米沢工場で製造。近年は食品原料としての販売にも注力する。また自社のB to C商品「カルノパ」シリーズは、アスリートの販売実績を持つ。同社はイミダゾールジペプチドのなかでもカルノシンがヒトの健康機能性の主体であることに着目。人の脳や筋肉に存在し、メチル基を持たないブレンな構造のため生体親和性が高く、銅や亜鉛などの金属イオンと錯体を形成して強力な抗酸化作用を発揮する。抗酸化作用を兼ね備える集中力・睡眠などにも関与する可能性や、脳関門を透過できる特性、抗酸化作用と抗糖化作用、pH緩衝作用を兼ね備えることなどが解明されている。脳内ではアミロイドβの糖化並びに凝集による毒性増強を抑える可能性、血管拡張作用などの知見を活かし、サプリメント市場に向けた研究・用途開拓に乗り出した。一昨年には独自に研究レビューを整え、イミダゾールジペプチドを関与成分に「日常生活で生じる一時的な疲労感軽減」をヘルスクレームとする機能性表示食品の届出実績を得ている。同品の強みは、高純度の化学合成品であるため既存の抽出品に比べ、原料由来の風味や色調がなく、水溶性に優れ、一部のアミノ酸類で一時的に生じる、皮膚への刺激感がないことなどが挙げられる。サプリメント原料ほか飲料や加工食品にも利用しやすく、他の機能性素材との組み合わせも容易だ。認知機能改善素材のほか、腸や血管、関節の健康などに寄与する素材と組み合わせ、全身の健康をケアするマルチモーダルな素材として浸透を図る。

